

静脈性血管瘤の実態調査依頼

日本静脈学会会員各位

日本静脈学会静脈疾患サーベイ委員

八巻 隆、西部 俊哉、山田 典一、佐戸川 弘之、

白石 恭史、孟 真、松原 忍、根本 寛子

謹啓

寒冷の候、先生におかれましてはますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。

さて、日本静脈学会 静脈疾患サーベイ委員会では、2018年の調査テーマとして「静脈性血管瘤」を取り上げることとなりました。第38回日本静脈学会総会(<http://ech.co.jp/jsp38/>)との合同企画で、先生には各症例を学会総会の要望演題としてご発表いただき、アンケートの回答内容を統合した結果は、サーベイ委員会からは希少疾患のエビデンスとして発信したく思います。

この調査では以下のことを主なポイントといたしました。静脈性血管瘤とは「広範な静脈の蛇行や延長を伴わない限局性の静脈拡張病変」と定義し、深部・表在静脈を問いません。

- 1) 過去10年間における静脈性血管瘤の経験の有無と症例数
- 2) 静脈性血管瘤症例の診断方法
- 3) 静脈性血管瘤症例と静脈血栓塞栓症との関連
- 4) 静脈性血管瘤に対する治療の具体的内容とその予後

調査対象は平成19年1月1日から、平成28年12月31日までの10年間に静脈性血管瘤と診断された患者といたします。

調査方法は会員の先生に、①まず過去10年間における経験症例の有無をメールにてご回答いただき、②症例ありの先生のみ添付のアンケート用紙に記入返送していただく方式です。

会員の先生におかれましてはご多忙のところ誠に恐縮ですが、メールをご返信いただき調査にご協力賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。メール回答の締め切りは平成29年12月15日（金）、症例アンケートの締め切りを平成30年3月31日（土）とさせていただきます。

すべての先生に以下の空欄にご記入をお願いいたします。

静脈性血管瘤：経験 あり () 例 ・ なし 【必要ない方を消去ください】

症例経験施設名（複数可能、その場合は症例数も記載）：

記載者施設名：

記載者名：

記載者連絡先電子メールアドレス：

記載者連絡先電話番号：

症例ありの先生のみ添付のアンケート用紙に記入返送していただくようお願いいたします。アンケート用紙への記入を完了されましたら、郵送あるいはメール添付(PDF形式あるいはワード形式)にて下記へお送り下さいますと幸いに存じます。

最後になりましたが、先生のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

謹白

連絡先

横浜南共済病院 心臓血管外科

松原 忍、根本 寛子

〒236-0037 神奈川県横浜市金沢区六浦東1丁目21番1号

電話: 045(782)2101

FAX: 045(701)9159

E-mail: jsp-survey2018@minamikyousai.jp